

宿 泊 約 款

TERMS AND CONDITIONS FOR
ACCOMMODATION CONTRACTS

山口県／萩温泉
源泉の宿



萩本陣

HAGIHONJIN

宿 泊 約 款

(適用範囲)

第1条 当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

2 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条 当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。

(1) 宿泊者名

(2) 宿泊日及び到着予定時刻

(3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）

(4) その他当館が必要と認める事項

2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申出がなされた時点において新たな宿泊契約の申込みがあったものとみなして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条 宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 宿泊契約は当館が前項の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、宿泊プランや内容によっては、申込後、事前決済や事前入金を行っていただき、当館が入金を確認したときに成立するものとします。当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

(宿泊契約締結の拒否)

第4条 当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

(1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき

(2) 満室（員）により客室の余裕がないとき

(3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき

(4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき

イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

(5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたときや言動等をするおそれがあるとき

(6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき

(7) 宿泊に関し、暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。）第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求め

る場合は除く。)

(8) 宿泊しようとする者が、当館に対し、その実施に伴う負担が過重であって、または他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき

(9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき

(10) 山口県「旅館業法に係る営業施設の設置基準等を定める条例」第6条の規定する場合に該当するとき
(宿泊客の契約解除権)

第5条 宿泊客は、当館に申出ることにより、宿泊契約を解除することができます。

2 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。

3 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ、到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当館の契約解除権)

第6条 当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

(1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき

(2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき

イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力であるとき

ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

(3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動等をするおそれがあるまたはしたとき

(4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき

(5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項に規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）

(6) 宿泊客が、当館に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき

(7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき

(8) 山口県「旅館業法に係る営業施設の設置基準等を定める条例」第6条の規定する場合に該当するとき

(9) 客室内での喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき

2 当館が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金は申し受けます。

(宿泊の登録)

第7条 宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

(1) 宿泊客の氏名、年齢、住所、電話番号及び職業

(2) 日本国内に住所を持たない外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日の掲載されたパスポートの提示及びコピー

(3) 出発日及び出発予定時刻

(4) その他当館が必要と認める事項

2 宿泊客が第11条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただくことがあります。

(客室の使用時間)

第8条 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後3時30分から翌朝10時00分までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

(※一部の利用時間が明示されているプランは除く。)

2 当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には当旅館にて定める追加料金を申し受けます。

(利用規則の遵守)

第9条 宿泊客は、当館内においては、当館が定めて当館内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第10条 当館の主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。

(1) フロント・キャッシャー等サービス時間：

イ 門限 午前0時00分

ロ フロントサービス 午前7時00分～午後10時00分

ハ チェックイン 午後3時30分～午後6時00分

(※時間外の到着の場合は事前にお申し出ください。)

(2) 飲食等(施設)営業時間：

イ 朝食 午前7時00分～午前9時00分

ロ 夕食 午後6時00分～午後9時00分

(料金の支払い)

第11条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めた宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

3 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当館の責任)

第12条 当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2 当館は、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第13条 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料については損害補償額に充当します。ただし、客室が提供できないこと

について、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(お持込品等の取扱い)

第14条 多額の現金または貴重品のお持込みをご希望の場合は、セキュリティ等の事情から事前にお知らせいただきます。お申し出いただいた場合でも、当館の判断によりお持込みをお断りすることがあります。なお、当館に対する事前のお知らせをいただかずにお持込みになられた多額の現金及び貴重品の毀損・汚損・紛失等については、当館は責任を負いかねます。

2 宿泊者がお持込みになった現金、貴重品、手荷物又は携行品については、宿泊者にて保管・管理していただくものとし、当館が個別の手続きにおいて、その保管・管理をお引き受けした場合を除き、(手荷物等の) 毀損・汚損・紛失等に関しては、当館に故意又は重大な過失がある場合に限り損害を賠償するものといたします。

3 前項の賠償については、客観的に損害額が立証されていることを条件に当該損害を賠償するものとします。宿泊者の主観的な価値にかかわらず、損害額の客観的な評価が困難な場合については、10万円を限度に相当額を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第15条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

2 宿泊者がチェックアウトした後の手荷物又は携行品は、当館が予め受諾した場合に限り責任をもって保管します。当館が予め申し受けた手荷物の預り期間内に引き取りがされない場合は、当館は責任を免れ、当該手荷物を任意に処分することができるものとします。

3 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられて、所有者の指示がない場合は、発見日を含め3ヶ月間保管します。なお、当館が廃棄された物であると認めるものは、当館の判断で廃棄することがあります。

(駐車場の責任)

第16条 宿泊客は当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任を負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意又は重過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第17条 宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。

(客室への入室について)

第18条 当館は、次に掲げる場合において、宿泊者のチェックイン後であっても宿泊者の許可なく客室へ入室することがございます。

(1) 清掃、布団敷き、ルームサービス等当館のサービスを提供するとき

(2) 法令の規定、利用規則、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき

(3) 警察・消防の指導に従い、入室が必要と判断されたとき

(4) 建物・設備の保全上必要があると判断されたとき

(5) 宿泊者の安否確認、安全保全のため等、当館が必要と判断したとき

(施設における感染防止対策への協力の求め)

第19条 当館は、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

- (1) 医師の診断の結果、その他の当該者が同号に該当するかどうかを確認するために必要な事項として厚生労働省令で定めるものを、厚生労働省令で定めるところにより営業者に報告すること
- (2) 当該旅館業の施設においてみだりに客室、その他の当該営業者の指定する場所から出ないこと、その他の旅館業の施設における当該特定感染症の感染の防止に必要な協力として政令で定めるもの

別表第1 宿泊料金等の内訳（第2条第1項及び第11条第1項関係）

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料（室料+朝・夕食料） ②サービス料（①×10%）
	追加料金	③追加飲食料（朝・夕食以外の飲食料） ④その他の利用料金 ⑤サービス料（③×10%）
	税金	イ. 消費税 ロ. 入湯税

- 備考 1. 基本宿泊料は、宿泊契約ごとに又は表記している料金によります。
2. 子供料金は小学生以下に適用し、大人に準じる食事と寝具等を提供したときは大人料金の70%、子供用食事と寝具を提供したときは50%、寝具のみを提供したときは30%をいただきます。
- ※寝具及び食事を提供しない幼児については、施設使用料をいただきます。

別表第2 違約金（第5条第2項関係）

契約解除の通知をうけた日 契約申込人数	不泊	当日	前日	3日前	7日前	21日前	60日前
8名まで	100%	100%	50%	30%			
14名まで	100%	100%	50%	30%	10%		
15名から79名まで	100%	100%	80%	50%	30%	10%	
80名以上	100%	100%	80%	50%	30%	20%	10%

- (注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の料率です。
2. 予約内容により、取消料の設定が異なる場合は、事前に通知します。
3. 契約日数が短縮した場合は、その日数分の違約料を収受します。
4. 申込人数の一部に契約の解除があった場合は、減員分の違約料を収受します。

※申込人数は子供を含む宿泊延人数の合計で算出

※減員による客室人員の変更に伴う、追加料金は別途収受します。

利 用 規 則

当館では、お客様に安全かつ快適にご利用いただくため、宿泊約款第9条に基づき、次の通り利用規則を定めておりますので、ご協力下さいますようお願いいたします。

遵守いただけない場合は、やむを得ずご宿泊及び館内諸施設のご利用をお断り申し上げ、又損害が発生した場合はその損害にご負担頂くこともございますので、特にご留意下さいますようお願いいたします。

火災予防上お守りいただきたい事項

1. 館内は禁煙です。おタバコは指定の喫煙所をお願いいたします。
2. 客室内には暖房用、炊事用等の火器及びアイロン等の持ち込み、ご使用はおやめください。
3. その他火災の原因が発生するおそれのある行為はおやめください。
4. 消防用設備等に対するいたずらは、安全の維持に支障が生じますのでおやめください。

保安上お守りいただきたい事項

1. ご滞在中のお部屋からお出になられる節には、施錠をご確認下さい。
2. 館外へお出掛けの時は、フロントに鍵をお預けになられますようお願いいたします。
3. ご訪問客と客室内でのご面会をご遠慮願います。
ご面会はロビーをご利用下さい。

貴重品・お預り品及び遺失物のお取扱について

1. 客室の金庫は、お客様が自由にお使い頂けるよう便宜備えつけてありますが、簡易なものですから、現金・貴重品については事故防止のため、必ずフロントにお預け下さい。

お支払いについて

1. 料金支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券若しくはクレジットカードに依り、ご出発時又は当館が請求した時フロントでお支払いいただきますので、ご了承下さい。
なお、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代り得る方法によりお支払いいただくときは、事前にご呈示下さい。
2. 旅行小切手以外の小切手でのお支払いはお受け出来ませんので、ご了承下さい。
3. 館内の施設などをサインにてご利用される場合は、お手数ですが、客室鍵をご提示下さい。
なお、各種乗物の切符代、タクシー代、切手代、送料等のお立替はお断りさせていただきます。
4. ご到着時にお預り金（基本宿泊料の全額）を申し受けることがございますので、ご了承下さい。

その他ご利用上お守りいただきたい事項

1. 館内にて他のお客様の迷惑となるようなもの、犬、猫、小鳥、その他の動物、発火又は引火性のもの、悪臭を発するもの、その他法令で所持を禁じられている物のお持込みはお断りいたします。
2. 館内で、高声、放歌、喧騒な行為、とばく、風紀、治安を乱すような行為、威圧、脅迫、又はこれらに類似した行為等他のお客様の迷惑になるような言動はなさらないようお願い申し上げます。
3. 当館の許可なく客室、ロビー等を営業行為（展示、広告、宣伝、販売等）等他の目的にご使用にならないようお願い申し上げます。
4. 館内の施設、備品の現状を著しく変更したり、用途以外にご使用になることはおやめください。
5. 客室の窓側、ベランダ、廊下又はロビーなどに物品を陳列したり、放置しないようお願い申し上げます。
6. 風呂及び洗面所のご使用後は必ず給湯水を止めて下さい。
もし流し放しであふれさせますと隣室、階下室に被害が及ぶ場合がございますのでご注意願います。
7. 下駄、ゴム長靴等又は素足でのご入館はご遠慮願います。
8. 裸体及びこれに近い服装はお慎み下さい。
9. 未成年者のみのご宿泊は、保護者の許可のない限りお断りさせていただきますのでご了承下さい。
10. エネルギーを大切に使う為、節電、節水にご協力の程お願い申し上げます。
11. 客室内よりお電話をご利用の際は、施設利用料が加算されますのでご了承下さい。
12. その他、関係法令及び一般社会通念上の範囲での諸事項。

当館従業員の客室への入室についてお願い

サービスの提供及び付随する諸業務により、次の場合にお客様のお部屋へ入室させていただきますので、ご承諾くださいませ。

1. チェックイン後、お部屋にお着きのご挨拶と諸用務伺い
 2. お布団敷き（お留守の時お荷物等を勝手に移動する場合がありますがご承諾下さい。）
 3. お客様が、ご用件を依頼されたとき
 4. 従業員が特に異常を感じたとき、又は設備・機械的な故障のとき
 5. ご連泊の際、お部屋の清掃とセット全般
- ※ 入室に際しましては、ノックをし声をかけさせていただきます。この際お部屋での、ご入浴・ご就寝・テレビの音量・その他により聞きとりにくく応答がないときには、お部屋に電話をし、お許しを得て入室させていただきます。
- ・館内の散策及び外出等で、ご不在の際には、サービスの提供をさせて頂く為、ご承諾を得ずマスターキーにより入室させて頂くこともございます。
 - ・緊急の場合（異常を感知した時も同様）ご承諾を得ずマスターキーにより入室させて頂くこともございます。

2025 年 2 月 改定

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

(Scope of Application)

Article 1

- 1 Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Ryokan and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.
- 2 In the case when the Ryokan has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

(Application for Accommodation Contracts)

Article 2

- 1 A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Ryokan shall notify the Ryokan of the following particulars ;
 - (a) Name of the Guest ;
 - (b) Date of accommodation and estimated time of arrival ;
 - (c) Accommodation Charges(based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the attached Table No.1) ; and
 - (d) Other particulars deemed necessary by the Ryokan.
- 2 In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph(2)of the preceding Paragraph, it shall be regarded as a new application for an Accommodation Contract at the time such request has been made.

(Conclusion of Accommodation Contracts,etc.)

Article 3

- 1 A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Ryokan has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article.
However, the same shall not apply when it has been proved that the Ryokan has not accepted the application.
- 2 A Contract for Accommodation shall be deemed to have concluded when the Ryokan has duly accepted the application as stipulated in the preceding Paragraph. However, depending on the accommodation plan and details, advance payment or deposit may be required, in which case the contract is concluded when the Ryokan has confirmed receipt of funds. However, the same shall not apply where it has been proved that the Ryokan has not accepted the application.

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 4

- 1 The Ryokan may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases ;

- (a) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions ;
- (b) When there is no room available due to full occupancy.
- (c) When the Guest seeking accommodation is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals.
- (d) When the Guest seeking accommodation is deemed to fall into one of the following categories :
 - (i) A member of an organized crime group, under Article 2-6 of Law on Preventing Unreasonable Conduct by Organized Crime Groups (Code 77 issued in 1991), or a related party, under Article 2-2 of said law ;
 - (ii) A member of a corporate body or other organization involved in the business activities of an organized crime group or related party ;
 - (iii) A member of a corporate body whose executive has been deemed a member of an organized crime group ;
- (e) When the person requesting Ryokan accommodation is behaving in such a manner as to be a significant annoyance to other guests ;
- (f) When a person who intends to stay at this Ryokan is a patient, etc. of a specified infectious disease as defined in Article 4-2, Paragraph 1, item 2 of the Ryokan Business Act (hereinafter referred to as “patient, etc. of specified infectious disease”) .
- (g) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation (Excluding cases where the person seeking accommodation requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act (Act No. 65 of 2013. Hereinafter referred to as the “Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities”) on Promotion of Elimination of Discrimination on the Basis of Disability.) .
- (h) When the person who intends to stay in the Ryokan has repeatedly made a request to the Ryokan as specified in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Ryokan Business Act as a request whose burden is excessive in its implementation and which may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests.
- (i) When the Ryokan is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of facilities or other unavoidable causes;
- (j) When provision of Article 6 of Yamaguchi Prefecture’s Ordinance for Establishing Standards for Establishment of Business Facilities Related to the Inns and Ryokan’s Act are applicable.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 5

- 1 The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Ryokan.
- 2 If the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable, the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2.
- 3 If the Guest does not appear by 8:00 p.m. of the accommodation date without advance notice (2 hours after the expected time of arrival if the Ryokan is notified) , the Ryokan may regard the

Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Ryokan)

Article 6

- 1 The Ryokan may cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances:
 - (a) When the Guest is deemed liable for conduct and/or has conducted themselves in a manner that will violate laws or act against the public order and good morals in regard to their accommodation;
 - (b) When the Guest is deemed to fall into one of the following categories:
 - (i) A member or associate of an organized crime group or otherwise affiliated with an organized crime group or other antisocial force;
 - (ii) A member of a corporate body or other organization involved in the business activities of an organized crime group or related party;
 - (iii) A member of a corporate body whose executive has been deemed a member of an organized crime group;
 - (c) When a Guest is behaving in such a manner as to be a significant annoyance to other guests;
 - (d) When the Guest is a patient, etc. of specified infectious disease.
 - (e) When the Guest who intends to stay at the accommodation commits a violent demand act or asks for a burden exceeding a reasonable range with regard to the accommodation (except when the guest requests the removal of social barriers as provided in Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities) .
 - (f) When the Guest who intends to stay at the accommodation commits a violent demand act or asks for a burden exceeding a reasonable range with regard to the accommodation (except when the guest requests the removal of social barriers as provided in Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities) .
 - (g) When the Ryokan is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of facilities and/or other unavoidable causes;
 - (h) When provision of Article 6 of Yamaguchi Prefecture's Ordinance for Establishing Standards for Establishment of Business Facilities Related to the Inns and Hotels Act are applicable;
 - (i) When the Guest does not observe prohibited actions, such as smoking in bed, tampers with fire-fighting facilities and otherwise breaches Ryokan Regulations stipulated by the Ryokan (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid causing fires.) .
- 2 If the Ryokan has canceled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Guest will be liable for the cost of the Accommodation Contract, including services not yet received.

(Registration)

Article 7

- 1 The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Ryokan on the day of accommodation ;
 - (a) Name, age, sex, address and occupation of the Guest (s) ;
 - (b) All Guests of foreign nationality who do not reside within Japan will be asked to leave a photo-

copy of their passport with the Front Desk and register nationality, passport number, port and date of entry in Japan ;

- (c) Date and estimated time of departure ;
- (d) Other particulars deemed necessary by the Ryokan.

2 In the case where the Guest intends to pay their accommodation charges prescribed in Article 11 by any means other than Japanese currency, such as vouchers or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 8

1 The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Ryokan from 3:30 p.m. to 10 a.m. the next morning. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

*Excludes plans where other occupancy hours are specified.

2 The Ryokan may notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph.

In this case, there will be an additional charge offered by the Ryokan.

(Observance of Use Regulations)

Article 9

1 The Guest shall observe the Use Regulations established by the Ryokan, which are posted within the premises of the Ryokan.

(Business Hours)

Article 10

1 The business hours of the Ryokan's main facilities are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in various places, the Service Directory in guest rooms and other means.

(a) Service hours of the Front Desk, cashier, etc.

(i) Closing time : 12:00 midnight.

(ii) Front service : 7:00 a.m. to 10:00 p.m.

(iii) Check in : 3:30 p.m. to 6:00 p.m.

*Guest (s) shall notify Ryokan in advance if arriving after hours.

(b) Service hours for dining, drinking, etc.

(i) Breakfast : 7:00 a.m. to 9:00 a.m.

(ii) Dinner : 6:00 p.m. to 9:00 p.m.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 11

1 The explanation of accommodation charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the attached Table No. 1.

2 Accommodation charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid at the Front Desk at the time of the Guest's departure or upon request by the Ryokan in Japanese currency.

Other means acceptable to the Ryokan are vouchers and credit cards.

- 3 Accommodation charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for them by the Ryokan.

(Liabilities of the Ryokan)

Article 12

- 1 The Ryokan shall compensate the Guest for the damage if the Ryokan has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases when such damage has been caused due to reasons for which the Ryokan is not liable.
- 2 (Even though) the Ryokan has received the “PASS MARK” (Certificate of Excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station), furthermore, the Ryokan is covered by the Ryokan liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

(Handling When Unable to Provide Contracted Rooms)

Article 13

- 1 The Ryokan shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
- 2 When arrangement of other accommodation can't be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Ryokan shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Ryokan cannot provide accommodation due to the causes for which the Ryokan is not liable, the Ryokan shall not compensate the Guest.

(Handling of Valuables Brought into Ryokan)

Article 14

- 1 For security reasons, Guests wishing to bring in a large amount of cash or other valuables should notify the Ryokan in advance. The Ryokan reserves the right to refuse liability for such items even if notified. Additionally, the Ryokan will not be held responsible for damage, defacement, loss, etc. of a large amount of cash or valuables brought into the Ryokan without advance notification.
- 2 The Guest shall store and manage all cash, valuables, baggage, and belonging brought into the Ryokan. With the exception of times when the Ryokan has undertaken the storage or management of such items under specific procedures, the Ryokan will only compensate the Guest for loss, damage, defacement, etc. in cases where the Ryokan has been intentionally or grossly negligent.
- 3 The amount of compensation as stated in the previous paragraph shall be determined by an objective appraisal of value. Regardless of subjective value to the Guest, if an objective appraisal cannot be obtained, the Ryokan shall compensate the Guest up to a maximum of 100,000 yen.

(Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest)

Article 15

- 1 When the baggage of the Guest is brought into the Ryokan before their arrival, the Ryokan shall be liable to store it only in the case when such a request has been accepted by the Ryokan. The

baggage shall be handed over to the Guest at the Front Desk at the time of check-in.

- 2 After check out, the Ryokan will accept liability for storing baggage or belongings only in the case when such a request has been accepted by the Ryokan in advance. If the baggage or belongings have not been collected by the end of the agreed upon storage period, the Ryokan may dispose of the baggage or belongings without any liability.
- 3 If a guest's baggage or belongings are left behind at the Ryokan after check-out and there is no instruction from the owner, they will be stored for three months, including the day they are found. However, items that the Ryokan deems to have been discarded may be disposed of at the Ryokan's discretion.

(Liability in regard to Parking)

Article 16

- 1 The Ryokan shall not be liable for the custody of vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Ryokan, as it shall be regarded that the Ryokan simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited with the Ryokan or not. However, the Ryokan shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Ryokan in regard to the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 17

- 1 The Guest shall compensate the Ryokan for the damage, caused through intention or negligence on the part of the Guest.

(Entering the Rooms)

Article 18

- 1 In the following cases, the Ryokan may enter the Guest's room without permission, even after check in :
 - (a) When providing services such as cleaning, setting up the futons, room service, etc. ;
 - (b) When the Ryokan has a reasonable suspicion, the Guest is violating the law or Ryokan Regulations or acting against the public order and good morals, or when such acts have been confirmed ;
 - (c) When the police or fire department judge it necessary to enter the room ;
 - (d) When it is necessary for building or device maintenance ;
 - (e) When the Ryokan deems it necessary to confirm the Guest's safety, to ensure a safe environment, etc.

(Request for cooperation in infection control measures at facilities)

Article 19

- 1 The Ryokan may request cooperation from the person who intends to stay at the ryokan in accordance with the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Ryokan Business Act (Act No. 138 of 1948) .
 - (a) In accordance with the provisions set forth by the Ministry of Health, Labour and Welfare, the operator must be notified of any necessary information to confirm whether the individual falls under the relevant category, based on the results of a medical examination or other required

checks.

- (b) Guests must refrain from leaving designated areas, such as guest rooms, unnecessarily within the inn's facilities, as part of the cooperation required for the prevention of specific infectious diseases, as stipulated by government ordinance.

Attached Table No.1

Calculation Method for Accommodation Charges (Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 11) .

		Contents
Total Amount to be paid by the Guest	Accommodation Charges	① Basic Accommodation charge (Room and Half Board) ② Service charge (①×10%) .
	Extra Charges	③ Extra Charges (Additional food and drink) ④ Other Expenses. ⑤ Service Charge (③×10%) .
	Taxes	1. Consumption Tax. 2. Hot Spring Tax.

Remarks

- The basic accommodation charge is based on the price indicated in each Accommodation Contract.
 - A charge applies to children attending elementary school of ages (up to 12 years of age) and under, 70% of the adult charge shall be required when meals and bedding comparable to those for the adult are provided to such children, 50% shall be required when meals and bedding for children are provided and 30% when only bedding for children are provided. For an infant to whom meals and bedding are not provided, we will charge you a facility charge.
- ※Various taxes will be charged for the use of all facilities.
- ※Those charges are subject to change in revisions of the Tax Laws concerned.

Attached Table No.2

Cancellation Charge. (Ref. Paragraph 2 of Article 5)

Date when Cancellation of Contract is Notified Contracted Number of Guests	No Show	Accommodation Day	1 Day Prior	3 Day Prior	7 Day Prior	21 Day Prior	60 Day Prior
1 to 8	100%	100%	50%	30%			
9 to 14	100%	100%	50%	30%	10%		
15 to 79	100%	100%	80%	50%	30%	10%	
80 and above	100%	100%	80%	50%	30%	20%	10%

Remarks :

1. The percentage is applied to the basic accommodation charge.
 2. If the terms of the cancellation charge differ under a specific reservation, the Ryokan will notify the Guest in advance.
 3. If the number of days in the Accommodation Contract is reduced, the cancellation charge will be applied for the cancelled days.
 4. If the number of guests in the Accommodation Contract is reduced, the cancellation charge will be applied for the number of cancelled guests.
- * The contracted number of guests includes children.
- * If the number of guests per room changes due to a reduced number of contracted guests, additional fees may be collected separately.

USE REGULATION

(RULES TO BE OBSERVED BY THE GUEST)

The Management has established the following use regulation (hereinafter called “rules”) in order to make our guests’ stay safe and comfortable, and requests to observe the rules as provided in Article 9 of the “Terms and conditions for Accommodation contracts.” your cooperation will be highly appreciated. Please bear in mind especially that in case when these rules are not observed we may refuse to offer accommodation and/or other facilities within premises ; or in some cases we may charge you for losses which have incurred.

TO AVOID THE CAUSING OF FIRES

1. Smoking is prohibited in the building. Please smoke at the designated smoking area.
2. Please do not bring any heating utensils for warming or cooking, irons, etc. into the guest room and use them.
3. Please refrain from other actions which may cause fires.
4. Please do not meddle with fire-fighting facilities, as it can disturb the maintenance of security.

TO MAINTAIN PUBLIC PEACE AND SECURITY

1. Please make sure that your room is locked when you leave your room while staying.
2. Please deposit the key of your room at the Front Desk when you go out of the Ryokan.
3. Only registered guests are permitted to use the guest room.

Please do not invite your visitors into your room. the Lobby is open to visitors who come to see you.

HANDLING OF VALUABLES, DEPOSITED AND LOST ARTICLES

1. Please deposit cash and/or valuables with notification of its kind and value in the safety box at the Front Desk, since the safe installed in your room is not of solid structure.
2. Please bear in mind that we shall compensate you within the limit of some amount for loss or breakage ; or other damage caused by thievery or destruction of cash and valuables which are not deposited at the Front Desk.

PAYMENT

1. Please pay accommodation and other charges with Japanese currency at the time of your departure or upon request of the Management ; or by any means other than Japanese currency such as travelers checks, coupons or credit cards as are recognized, by the Management at the Front Desk, in such a case, these credential shall be shown in advance at the time of the registration at check-in-time.
2. Personal checks are not accepted.
3. Please show the key of your room when you sign a bill at the bar, restaurants and/or other facilities in the Ryokan.

We shall not pay for you any transportation tickets, taxis, postal stamps, postage or other expenses which you incur, however temporary.

4. We may ask you to deposit in some cases your accommodation charges at the time of your arrival.

OTHER RULES

1. Please do not bring into the hotel such articles that may annoy other guests ; dogs, cats, birds or other animals ; articles which are liable to cause combustion or ignition ; molodrant or articles in your possession prohibited by the Law.
2. Please refrain from loud shouting, singing or other uproarious actions ; gambling, actions which may contravene the maintenance of public and morals, or other actions which may annoy other guests.
3. Please do not use guest rooms, the Lobby or other facilities for business purposes (exhibition, advertisement, publicity, sales and others) without permission of the Management.
4. Please do not tamper with facilities and equipment in the Ryokan. Please use them for their rightful purposes.
5. Please do not display or leave articles (of clothing, flags, etc.) in the window or on the veranda of your room, in the hallways or in the Lobby.
6. Please make sure that water has stopped running after you use the tub or basin. If water is left overflowing, it may damage rooms next to your and on the floor below.
7. Please do not enter the hotel wearing geta (wooden sandals) or long rubber boots.
8. Please do not walk around without wearing anything.
9. We shall refuse to offer accommodation to persons under age without permission of their guardians.
10. Please conserve energy. Please save electricity and water.
11. Please note that when you make a telephone call from your room, Facilities Utility Charges are added to your bill. Public telephone is located on the 1th floor.
12. In addition to the above, please behave yourself with common sense.

The APPLICATION

To give you good service and to duly accomplish the accessory business, we will enter your room in the following cases. Please consent to it in advance.

1. After the check-in, to greet and to inquire about your requests.
 2. To make the bed or to lay out the futon (Please permit moving your baggage when you are out.)
 3. When you make some requests.
 4. When we are aware of something unusual and/or in case of some accident of equipment.
 5. To clean your room in case of continuous stay.
- * We wish to knock and call out before entering your room. In cases when we receive no answer due to sleep, bath or loud volume on TV, we will telephone you.
- When you are out, we may enter your room with a master key without your permission in order to fulfill our services.
 - In case of an emergency, or awareness of something unusual, the rooms may be opened by master keys without the permission of the guests.

February 2025 revision

